

LGBTQ+と金沢大学

～誰もが自分らしくいられるキャンパスへ～



通称名で過ごせる キャンパスライフ！

金沢大学では「通称等に係る申出書」を提出することで、戸籍上の氏名や性別とは異なる氏名・性別を使用できます。通称名で授業や定期試験を受けられ、卒業・修了できます！ただし、学位記や本学が発行するすべての証明書にも（卒業・修了後も）通称名を記載するため、注意が必要です。また、在学中に通称名の使用を中止することも可能です。

誰でも使えるトイレ、充実してます！

金沢大学では、各キャンパスの各棟に多数のバリアフリートイレ（多機能トイレ）を設置しています。例えば、角間キャンパスだけでも北地区に11か所、中地区に7か所、南地区に28か所（R7.3現在）あります。また、バイオマス・グリーンイノベーションセンターには「共生社会についての啓発」の一環として「All-Gender Restroom」を設置しています。



日本語
ENGLISH

LGBTQ+ サポートガイド ／LGBTQ+ Support Guide

LGBTQ+の当事者や周囲の人の修学・就労における支障や心配事を解消することを目指し、本学の取組や対応をまとめた「LGBTQ+サポートガイド」を公表しています。



日本語

In order to alleviate any challenges and concerns that LGBTQ+ and those around them may face in pursuing their studies and works, we have put together "LGBTQ+ Support Guide," describing our initiatives and responses.



ENGLISH

LGBTQ+ 相談／LGBTQ Consultation

LGBTQ+や周りの人たちが抱えるさまざまな悩みごと、性自認や性的指向等に関する相談窓口を設置しています。当事者の周りの方からの相談も受け付けます。相談は、専門知識を持ち、守秘義務のある担当者が対応しますので、安心して相談してください。対面相談を希望する場合は、事前予約フォームにて予約してください。



日本語

Our consultation desk responds to daily concerns and worries that LGBTQ+ may have regarding gender identity, sexual orientation, and so on. Those around LGBTQ+ can also use our consultation services. Please feel free to contact us as consultations are handled with confidentiality by staff members who have specialized knowledge. For face to face consultations, please submit a reservation form in advance.



ENGLISH

留学体験記

海外で
ジェンダー学に触れる！

■人間社会学域経済学類 R4.3卒業 嵐柴綾（スウェーデン）



私は「トビタテ！留学JAPAN」に採用され、5ヶ月間のスウェーデン・カールスタード大学での派遣留学を経験しました。

カールスタード大学では社会学（主にジェンダー学）と医学を組み合わせた授業や、北欧諸国の歴史や政治について学ぶ授業を受けました。

学外では、ヨーテボリの地域経済庁にて「国民のSDGsの意識や取組」について取材し、ジェンダー平等の取組の一つであるユースクリニック（若年層向け保健施設）を訪問しました。

現地のプライドパレードにも参加し、その街の一つの文化として、子供から大人までが楽しんでいる様子がとても好印象でした。

これらの経験を経て、ジェンダー学を学んでいて良かったと思うことは、同じ課題意識を持ち共に活動してくれたかけがえのない仲間たちと出会えたことです。性別や年齢や容姿に関わらず「ありのままの自分」で、たくさんのかたちを学び、知り、発信することができたのは、何よりの経験だったと思います。

金沢大学を卒業し学問から離れてしまった今でも、あの日の学びが生きていると日々実感しています。ジェンダー学は学びの尽きない学問です。今後も関わり続け、学び続けていこうと思っています。

■人間社会学域国際学類 R5.3卒業 土屋瑞樹（フィンランド）

私は大学の派遣留学の制度を利用し、フィンランドに留学しました。北欧地域はジェンダー平等の取り組みや多様なセクシュアリティへの理解が先進的なイメージが強いですが、フィンランドは同性婚が認められるまで反対意見も多く、活発な議論があった国です。

大学では主に異文化理解やコミュニケーションについての授業を受講し、留学生同士マイノリティとしての経験やマジョリティの特権性について実践的に議論したことが深く印象に残っています。また、学内にはユニセックスのトイレがあり、特に違和感なく利用していました。しかし、社会的な認識や法整備が整っていない日本で同じものを設置すると思った時、みんなが安心して使えるかという点とまだ課題があると感じました。

これらの経験から、フィンランドは「公平・平等・公正」を重視し、どんな属性であっても差別されない環境作りを社会全体で努めてきたことを学びました。



イベント紹介

■金沢プライドパレード



毎年秋に金沢市内で行われる「金沢プライドパレード」に、金沢大学プライドパレードチームとして参加。パレードの参加に加えてブースも出展し、ワークショップや本学の取組紹介も行う。

イベントでダイバーシティを体感する！

■LGBTQ+勉強会



教職員・学生問わず、皆が性的マイノリティを巡る課題について理解を深め、誰もが息をしやすく過ごせるキャンパスを目指し、LGBTQ+勉強会を開催。学外より講師の先生を招き、LGBTQ+への理解を深める。

授業科目ラインナップ！ (R7.4 現在)

■「現代社会と人権」（共通教育GS科目） 飯田玲子 講師

現代社会は多様な価値観を持つ人々が存在している。この授業では、異なる価値観を持つ「わたしたち」が、お互いの差異や価値観を尊重し、どのように共に生きていくことができるのかを、文化人類学の立場から考える。

■「国際学特別研究（比較ジェンダー論E）」（国際学類） 南コニー 准教授

グローバルな視点でジェンダー学について学ぶ。男女平等はSDGsの中の一つにも含まれている全世界的な大きな課題の一つである。欧州のジェンダー史や各国の現在の取り組みと日本社会におけるジェンダーを比較する。（第4クォーター集中講義）

金大でダイバーシティを学ぶ！

■「ダイバーシティ促進」（先導学類・観光デザイン学類・地域創造学類） 日比野由利 准教授・西脇ゆり 講師

学校や職場、地域社会におけるダイバーシティの課題を理解し、その促進方法について学ぶ。

■「ジェンダーと教育」（人間社会学域・全学類） 綿引伴子 教授・上森さくら 准教授

ジェンダー研究の成果を紹介するとともに、ジェンダーの視点をもとにこれまでの教育や社会のあり方を問い直すことを目的としている。

金大の先生オススメMovie！



『片袖の魚』（東海林毅 監督 2021年）

熱帯魚を扱う東京の会社に勤めるトランスジェンダー女性のひかりは、どこか自信なさげで「不完全さ」を内に秘めている。そんな彼女がどのように自分の「不完全さ」を愛するに至るのか、軽やかに飛び跳ねる彼女の姿をスクリーンで観てほしい。日本で初めてトランスジェンダー女性当事者の俳優オーディションを経て作られた、金沢出身の映画監督が贈る野心作。

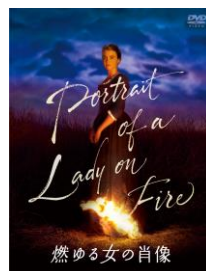
『燃ゆる女の肖像』（セリーヌ・シアマ 監督 2019年）

「振り返って」と愛する者から惜別の瞬間に懇願されたとき、あなたならどうするだろう。18世紀のフランス・ブルターニュ地方、画家マリアンヌは令嬢エロイズの見合いのために肖像画を描く。視線の交錯、共に楽しむ食事や音楽を通じて、二人の若い女性はやがて恋に落ちるが…。「あったかもしれない」過去の物語を現代に編み直す映画の想像力に溢れた傑作。

『そばかす』（玉田真也 監督 2022年）

映画は地方社会に暮らす性的マイノリティの生活をどのように描いてきたらうか。アロマンティック・アセクシュアルの女性を主人公とする本作は、結婚に対する家族からの期待が重くのしかかり窒息しそうなとき、「ここではない、どこか」として大都市への逃避行を目指すのではなく、「いま、ここで」ひとりぼっちではない生き方を模索する姿を力強く描く秀作。

人間社会研究域
国際学系
久保豊 准教授



ブルーレイ&DVD
発売中
発売・販売元：
ギャガ
© 2019 Lilies
Films / Hold-Up
Films &
Productions /
Arte France
Cinéma



映画「そばかす」
配給：ラビットハウス
©2022「そばかす」製作委員会

